

～夢の木を描こう～

2022（令和4）年5月25日

5月のフレンドリータイムで学校教育目標「学び伸びる」ための「夢の木」についてミートで話したことを紹介します。

令和5年度広島県公立高等学校入学者選抜から、広島県が15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力として設定している「自己を認識する力」、「自分の人生を選択する力」及び「表現する力」をみるために、自己表現カードを活用し、個人ごとの面談形式で自己表現を実施することに決まっています。

～以下広島県教育委員会ホームページより抜粋～

これから大人になり、社会に出ていった際には、

- ・ 自分自身のことを理解する「自己を認識する力」
- ・ 自分の夢や目標、やりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自らの意志で決める「自分の人生を選択する力」
- ・ 自分自身のことや自分の意見などを、相手に理解してもらえるように、相手や場面に応じて、工夫しながら伝える「表現する力」

が必要になってくると考えて、中学校を卒業する15歳の段階で、本県の生徒全員に、このような力を身に付けてもらいたいと考えています。

～公立高等学校入学者選抜制度の改善について自己表現についてQ&A（リンク）～

○「自己表現」では、自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や、高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で、自分らしく、伸び伸びと表現してください。

このように、自分のことを表現する力を付けるために小学校から始めることが必要だと考えています。そこで、夢をかなえるために毎日何をするのか、イメージすることを小学生の時から続けていた大谷翔平選手を紹介しました。

そして、植物は成長するために太陽の光（日光）、水、空気、適温が必要であることをたとえて、自分自身が成長するためにも運動や勉強、知識が必要であり、自分とは違う多様な人と出会い、仲間と共に過ごす中で社会で生きるために必要なことを学ぶために学校に来ていることを伝えました。

さらに「夢の木」に今の自分の夢や好きなこと、好きなこと、たいせつな人、得意なことを書いて目標をもって毎日を過ごしていきましょう！と話をしました。（夢の木カードはまだ配っていませんが）これは東朋中学校区のキャリアシート「今の自分について考えよう」の「よいところ、得意なこと、好きなこと、夢中になっていること、将来の夢」と共通しています。このシートには「1年後の自分の姿」

を書くスペースもあって近い将来の自分のイメージができるようになっていきます。大谷翔平選手も「どうなりたいか、なりたい自分をイメージすることが大切」と語っています。

今すぐにイメージできなくても多様な表現方法を知り、自分で選んで表現することができるように大谷台小学校でも学びを進めていきます。

